おりもの展示館企画展

「かわまたシルクの魅力」作家
シルクへの想いとプロフィール

関レーコ

ヒツジパレット2015に「白の憧憬」という北欧のイメージを川俣シルクで表現してから、川俣シルクの虜となりました。繊細で清々しくデリケートな表現作品に最適。世界一細いシルクの魅力は永遠です。

2013年3月	公立小学校勤務辞職後、4月より創作活動開始
2014年6月~7月	北欧にて研修
2015年2月	京都ヒツジパレット2015出展 「白の憧憬」ウールカンパニーセレクト受賞
2015年3月	第2回みやぎの力 アート&クラフト出展
2019年2月	東京 聖路加画廊にて個展 以後毎年開催
9月	東北工大一番町ロビー「美しいもの レーコと優光の世界」
2019年11月	第10回雪のデザイン賞「凍える河Ⅰ・Ⅱ」入選
2020年8月	「レーコ と少年院の教え子たち 2020」東北工大一番町ロビー 以後、毎年開催
2022年10月	川崎町 ギャラリーアトリエ由季野 個展 (2023年5月 2025年11月開催)
2023年3月	東京国立市 ギャラリー悠 個展 以後、毎年開催
2024年1月	神戸市 トアギャラリー 個展 (2025年3月開催)
2024年8月	「美しいもの レーコ と少年院の教え子たち」東北電力グリーンプラザ (2025年6月 2026年6月開催)
2025年7月	仙台市ギャラリー天沼個展 (2026年2月2026年7月 開催)
2026年4月	仙台市 むかでや画廊 個展 ※仙台市 アサカlaboratoryにて個展多数

西村秀美

川俣羽二重は特に染め上がりの色合いが良く、最近神戸芦屋でのファッションショーにエントリーしていますが、上等な布の作品群の中でも注目されています。これからも関西のデザイナーさんたちと共に、川俣羽二重の可能性を探り発信していけたらと思います。

共立女子大被服学科卒
西陣伝統工芸士の和泉博山先生と現代織のさをりで織りを学ぶ
64歳で徳島にUターン
故郷に日本茜が自生しているのを見つけ、栽培と染色の団体を立ち上げ地域振興の活動開始。
華道家、書家、デザイナー、染織家の皆さまのご協力の元作品展示をして日本茜の素晴らしさを発信中。
始めて未だ日が浅く、拙い作品ですがトライさせていただきました。

安達聖子

今の私の染織活動に、シルクオーガンジーは切っても切れない存在となっています。
❶裂いて布糸布織に!軽さが何よりの強みです。
❷染めてストールに!極薄でさらっとした肌触りの良さが1年中愛される所以です。

徳島県三好市 生まれ
女子美術短期大学 テキスタイルデザイン教室 卒業
染織家 泉ひろみ氏に師事
2001年より、染織家として活動
2001年 “GALLERY komorebi”を主宰(現在は主に企画中心)
個展 開催
グループ展 参加
東京ミッドタウンshop “STYLE MEETS PEOPLE”にストールなどを委託
趣味 長唄三味線

吉谷美世子

Print+FELT works 融合の先に…..
薄い石鹸水をかけて,手で擦ったり転がしたりするだけ。
自然の素材たちと それらに染め付けられた様々な色彩がゆっくり混ざりあいひとつになっていく。
そうして作られた布は,暖かく柔らかく優しく私たちを包み込んでくれる。

1997年	大塚テキスタイルデザイン専門学校卒業
2000年~	個展・グループ展多数
2009年~	布フェルトワークショップを開催
2016年~	海外でワークショップ・レクチャー・展覧会を開催
1998~2015年	大塚きもの・テキスタイル学院講師
2004~2022年	日本クラフトデザイン協会(2022年解散)会員
現在	ジャパンテキスタイルカウンシル会員 スマイルスタジオタカノ講師

かわまたおりもの展示館へのご案内



●電車・バスを利用
東北新幹線福島駅(東口)より バス 45 分
(JR バス「川俣高校前行」で
「絹の里シルクピア前下車」)

●車を利用
東北自動車道二本松 IC より 30 分
東北自動車道松川スマート IC より 30 分

